

あさカジャ Vol.1

アンニョンハセヨ！

皆さま、はじめまして。

令和7年4月より旭川市の姉妹都市である水原市（スウォン）へ派遣
させていただいている、湯浅 麻世と申します。

私は、旭川市役所で平成29年度採用されて今年9年目となります。

採用当時から姉妹都市の派遣に関心があり、この度派遣させていただ
けることになりました。

韓国に滞在する約1年間、韓国や水原市の様々な情報や、学んだこ
とや経験したこと、感じたことをここでご紹介していきたいと思っ
ていますので、楽しんで見ていただけると幸いです。また、これを見
る皆様が、韓国や水原市に関心を持っていただけるとさらに嬉し
く思います。

さて、私は4月16日より韓国に来ており、1か月ほどが経過しました。

入韓から10日間はソウルに滞在し、今年度は日本を含む7か国、約
40名の海外の公務員が参加する全国市道知事協議会「GAROK」の
研修を受けていました。10日間の日程が終了して、現在私たちはそ
れぞれの配属される自治体で働いています。GAROKが主催する研
修は、今後半年間も何度かある予定です。研修の様子等は、今後の
内容でも取り上げる予定です。



ASAHIKAWA CITY

さて、第1回目は、水原市について紹介します。

水原市は、韓国の北西部、ソウルから南へ約35kmほどの場所に位置する人口123万人（令和7年3月時点）の自治体です。京畿道（キョンギド）という28市3郡を含む大きな行政区の都市のひとつで、京畿道庁が市内に置かれています。市内には、ユネスコ世界文化遺産に登録されている水原華城（スウォンファソン）や1988年のソウルオリンピックを記念して作られたオリンピック公園をはじめとした歴史的遺産が多く残されている一方、世界的に有名なサムスン電子の本社があり、近年では電子工業や化学工業等の工業都市へと発展を遂げており、歴史と現代を感じられる都市となっています。

水原市には、私のいる水原市役所（スウォンシジョン）の他に、区役所や住民センターがあります。1階に市民課がありますが、市民の方は区役所や住民センターで手続きを行うことが多いようで、市民課にはほとんど人がいません。



水原市役所。

平日9時から18時までの勤務で、日本の行政機関と同じく土曜・日曜が休日、その他韓国の祝日も休みとなります。



日本との違いを感じる部分は、昼食です。韓国では家族や会社の係・チーム等のグループで昼食を食べることを大切にしています。もちろん強制的なものではありませんが、水原市役所でもほとんどの職員が昼食時間をグループで過ごしているのが印象的です。そして、昼食後はカフェに行くことも多く、昼休憩から戻る大勢の職員がコーヒーを手になっています。

昼食やコーヒータイムを共有しながら、休日や今朝の出来事を話したり、性格診断で盛り上がったり、他愛のない会話をする事でチームの雰囲気や和やかになり、とても良い文化であると感じています。

昼食は近くの飲食店に行くこともありますが、毎日だと経済的に大変ということで人気なのが市役所の食堂です。おいしくてボリュームのある食事を1食4,000W（日本円でおおよそ400円）と外の飲食店よりも安く食べられます。



市役所の食堂の様子。好きな量のご飯やおかずを盛りつけられます。



水原市は、現在15の姉妹都市、4つの友好都市と提携を結んでいます。旭川市は、1989年に水原市が最初に締結を結んだ姉妹都市で、昨年35周年を迎えています。

その都市交流事業を担当しているのが、私が現在所属している行政支援課・国際交流チームです。

チームには、行政職員と英語・中国語・日本語の専門職員がおり、皆さん都市交流に関する仕事を行っています。主には、姉妹都市や友好都市の訪問・歓迎事業、国際イベントの担当事業等で、最近では今年4月にも、姉妹都市のドイツの訪問団を迎えたばかりだそうです。

そして、このチームの担当事業として行っている姉妹都市職員相互派遣事業で、現在私が水原市に来ており、これから水原市からも旭川市へ1名の職員が派遣に行く予定です。



1階に飾られている、姉妹都市から送られた品々。



ASAHIKAWA CITY



水原市のマスコットキャラクター「スウォニー」

水原市に来て3週間ほどが経過しましたが、温かい職員の方々に支えられて過ごしております。

約1年間を通して、多くの経験や様々な場所を訪れることで、韓国から水原市及び韓国の魅力や文化等を発信していきたいと思います。

では、次回のあさカジャでお会いしましょう！

